成年コミック

学園まりあ

Lesson



あうら聖児

SHINYUSHA COMICS

SHIN YU SHA



学園まりあ

あうら聖児

成年コミック

晋遊舎

9784883802753

ISBN4-88380-275-2

C9979 ¥857E

1929979008574

雑誌44350-55

晋遊舎

定価900円 本体857円

学園まりあ

夏のアティテュード

週末のヒメゴト

ピーチトラップ

これから・それから

南国パラダイス





Welcome to our school, MARIA!

MARIA Academy



illustration:ひうき聖佑　cover design:フタタマリエ。


MARIA Academy
SEIJI AURA



学園まりあ 7
27 夏のアティテュード
週末のヒメゴト 43
61 ピーチトラップ
これから・それから 77
95 南国パラダイス＃1
南国パラダイス＃2 113
129 南国パラダイス＃3
南国パラダイス＃4 147
165 あとがき


教師を目指して
はや10年……
ついにこの日が
きたんだわっ♡
しかも
名門と名高い
全寮制の
若ノ葉学園へ!!
(男子校っていうのが
ちょっと心配だけど)
ああっ
神様……
今日は早坂(はやさか)まりあ
人生で最良の日
ですっ♡

校長室
いやー
わざわざ
遠くから
すみませんな
いいえっ
今日から私も
この学園の一員
ですから……
うむ……
この学園は
教師・生徒ともに
全寮制なのが
特徴でしてな
今日から
まりあ先生も
教員寮に入って
いただきますぞ
ところで
この学園の
はるか先生とは
姉妹でしたな
ええ!!
私が教師を志す
ようになったのも
はるか姉さんの
影響が大きいんです
ですから
姉さんと同じ教壇に
立てるように
なるなんて
夢のようです


ところで…
この学園の方針を
記したワシの著書は
読んでもらえたかね？
は…
はいっ
「教師は生徒たちの
母であり姉であり
いたわりと慈しみの心を
持った恋人でもある」
——という言葉には
とても感動しました
また…
「教師は常に
生徒に奉仕すべき
存在だ」という
言葉にも!!
私も今日から
その精神で
がんばりますっ
そうか……
それは
すばらしい
それにしても
見事ですな
え？

まりあ先生の
その豊かな
胸のことですよ
！
そ…
そんな
大きすぎて
悩みのタネ
なんです……
ほっほっほっ
いやなに恥ずかし
がることは
ありませんぞ
2-B
なにしろ
ワシがまりあ先生を
選んだのは
まさにその点
なんじゃから……
え？
何か言いました？
いやいや
何も…
ここが
まりあ先生が
うけもつクラスです
お姉さんの
はるか先生の授業中
ですが とりあえず
生徒にあいさつでも……
ああ……
今日から本当に
教師としての
第一歩が
はじまるのねっ
姉さんと同じ
憧れの教師に
なるんだわっ♡
し…
失礼しますっ


あひぃん♡
ああん♡
きてぇ…♡
ぐりぐり
ぐりぐり
先生の膣(なか)で
いってぇえ…♡


ぬぬ
ぬぬ
ぬぬ
ぬぬ
あっ♡
いいっ
なっ……
ひっ
姉(ねえ)さん
ほっほ♡
はるか先生の
授業はあいかわらず
活気があるのぅ……
うん


ああん♡
ね…姉さん…？


あら……
まりあじゃない……
あら…
じゃありません!!
こ…これは一体
なんなんですか!?


驚くことはありませんぞ
これこそが我が校の理想的授業なのじゃ
うんうん
なっ……
この学園においては教師は生徒に奉仕する存在――……
つまり…思春期の生徒たちのたぎるような欲望の処理も教師としての立派なつとめの一つじゃ!!
そっ…そんなことできませんっ!!
だいたいこんなことを白昼堂々とするなんて……
うふふ…固いこと言わないの♡
ズイ
あ…!!
あ……
姉さん…一体何を……
ゴクッ


校長先生…
さっそくまりあの
歓迎会をしても
よろしいかしら?
うむ!!
ぞんぶんに
ヤリたまえ♡
よいしょ……
あっ
何するの
姉さん……
いっ……
いやぁあん

すっげ――♡
これがまりあ先生の
胸かぁ…♡
こんな巨乳の
先生に担任して
もらえるなんて
幸せっス!!
やっ…
ダメっ……
こ…こんな
……
憧れの
教師生活の
一日目なのに
こんな……
うほっ
たまんね……
よーしみんなで
まりあ先生に
こすりつけちまおぅ
やっ…
やっ…!!
お――っ


あ
ぐにっ
むにっ
あっ
ああっ…
さっきの薬の
せいなの…？
こんなこと
されていると
いうのに
き…気持ちいい
なんて……
で…でも
これ以上はダメ…
拒まなきゃ……
ねーねー
早いとこ
脱がしちゃい
なさいよー♡
ガバッ
え――っ!?


すると…
うお――っ
たまんね――
さ…
みんなで
なめてあげて♡
なっ
ダ…
ダメぇ……
体中
敏感になってるのに
これ以上されたら
……
はーい♡


ほら…もう
ひくついて
きてるじゃない
今度は
まりあが
クラスのみんなに
奉仕しなくちゃ
はい
姉さん……
ああっ…
頭がボーっとして
何も考えられない
……
き 今日から
みなさんの担任になる
早坂まりあ…です…
どうか…みんなで
まりあを可愛がって
くださ…い……


あっ…あっ…
そんなっ……
ダメぇえ
いただきっ♡
うはっ
姉妹だけあって
よく似てるよ
だいぶほぐれて
きてるな……
っあああっ…
――っ
ああんっ…


じゃあ
一番手はオレが
いきまーす
あっ
ズルいぞ
青木!!
これから
よろしくね♡
まりあ先生♡
チュッ…
こんな時に
やさしくキスして
くるなんて……
っあ
いーなー
ぼくもー♡
やっぱり
かくごぉ…
ひぃん♡

っあ
あ
くぅぅ…
おうっ…
ああんっ
はーい♡
次いきまーす♡
あっ
ちょっ…
そんなっ
あっ……


あの真面目で教育熱心な姉さんはどこにいってしまったの？
ああん
ああっ…そんなっ
ああっ赴任一日目からこんなコトになるなんて
これが理想の教育なの…？
っは…
ダメェ……
もう何も考えられない
っあ
もう…どうなってもいい…もっとまりあを可愛がってぇえ
あひっ ひぁ♡
あああ…ん♡


夏のアティテュード


はっ
はぁ
ひぐっ!
はっ…
っは…
はぁ…っ
ホッホッホ
どうやら資質は
充分のようじゃ
これは思ったより
早く学園になれて
くれそうじゃの
ええ 私の
妹ですもの
私…教師一日目から
こんなコトになってしまって
これからやっていけるか
とても不安です……
でも…でも
もしかしたら
――――……

学園まりあ／おわり


夏はキライだ
自分の体力のなさをいつも思い知らされる
ボクはこの夏休み…母方の田舎に遊びにきていた
ミ――ン
ミ――ン
ジ――
なんね――
男の子はそぎゃんこと気にせんでよかとよ
ごめんね……ボクのせいで留守番になって……
こーちゃんもアホやねェ…
なんであんな流れの急な所で泳いどったん?
ぽた
ぽた
……
ゴロ…
それにしてもこーちゃんも大きゅうなったねェ
三つ年上の遙ねーちゃん…たいして年もちがわないはずなのに大人びて見える
背は伸びよる時期なんかな
身体の方はもっと大人だ……
?
チラッ
28
29


ねェ……
こーちゃん……
女の子の裸は
見よったことある？
えっ？
見せたげよっか
――♡
ウチの裸
……
あ…
いや……
その……
えいっ♡


それにしても…
なんで
こーちゃんば
あぎゃん流れの急な
トコで泳ぎよっと？
地元のコでも
あげなトコでは
泳ぎきらんとよ？
だって……
遙ねーちゃんが
……
？
ボクのコト
ひ弱だとか
バカにして……
たくましい男の方が
好きとか言うから……
ゴメンゴメン……
こーちゃんが
そぎゃん気にすっとは
思わんかったとよ
バカやねェ……
そんなコトで
好きとかキライとかの
関係なか
そ…そう……
な…
ならいいんだ……
……


どお？
ウチの胸は……
あ……
すごく……
やわら…かい……
むにゅ
むにゅん
むにゃ
むにゃ…
そう……
やさしく
包み込むように…ね
吸っても
よかよ……
ボクは
無我夢中で
遙ねーちゃんの胸を
むさぼった……
あ……
んっ……
う…
うん……


その時は
頭の中が
ぐるぐる回って
いるようで……
どお？
ウチの裸は？
さわっても
良かよ――
あ……
ビチ！
ビチ
むにゅん？
あ……


じゃあ…ウチが
男の子から
もんね♡
少し湿っぽい
日本家屋の中で……
遙ねーちゃんの
声だけが耳に響いた
こく
こく
ボクは
声もなく
ただうなづいていた
ん……
ミーン
ミーン


んちゅ
ん……
ふっ
んっ
くっ
んちゅ
あ……
のる…
そう……
よかよ……
のる…
……
ねェ……
こっから先
何するか
知っとお？
う…うん……
ぬっ
ぬちゃ
ぬ…
そっか
そっか……
こーちゃんも
男の子やもんねェ
ミーン
ミーン


そう…
そこ……
良かよ…
そのまま
入ってきて……
ん……
んっ…
ボクは
夢中で腰を
動かした
遙ねーちゃんは
それまでと
うってかわって
なんだか
しおらしく……
つく…
あ……

時々
ドキッとするような
女っぽい声を
あげた
っあ…
あっ……
んっ
ふうん……
あっ……
あっ……
んふっ
あっ
ふっ……


くあっ…
つあ……
あぁ
あ
はあっ
逝ねーちゃん
……ボク…もっ
良かよ
こーちゃん…
あ……
きてっ……


あっ
あっ……
つあ……
つあ……
良かよ…
こーちゃ…ん……
あっ…う
こーちゃ……
つは……
ああ…っ


ただいま——っ
遥——っ
どこにおるとや——？
あやや…
早よ服ば着らんと……
わた…
わた…
う…うん……
クズ…

こうして——
ボクの夏休みは
終わりをつげた……
それじゃ
ここで……
こーちゃんっ…
これっ
おみやげっ
？


あぁっ…
あ——っ…
はぁ…
はっ…
はぁ…
ふふっ…
ちゅ…
良く
できましたっ♡



あ……
あの時の
パンツ……

あの日――
どうして遙ねーちゃん
ボクとHしたのか
――……

ふう…

あぢー

うわさで……
遠距離恋愛していた
彼と別れたばかり
だと知ったけれど……

あの日の
遙ねーちゃんは
ボクにとっての
一生の宿題になるの
かもしれない……

つ――か
その前に
ホンモノの宿題を
やらなきゃね

BOYS BE

夏のアティテュード／おわり


母を亡くして以来
父と娘…
2人きりの
平凡な生活――……
でも週末になると
2人の関係は
一変します…
なぜなら――……
ガラ
お父さん……
ただいま
帰りました……
ああ…お帰り
美優……
雨で濡れただろう…
風呂が沸いてるから
早く入りなさい


は…はい…
お父さん……
ああ…
せっかくだから
私も一緒に
入ろうかな……
は……
はい……
そう…
週末になると
父は……
私を
一人の娘としてではなく
性欲の対象として
見るようになったのです
ごそ
……


成長期が
始まった頃から
弄られ続けた
私の胸――……
ふふ…
また大きくなったね
美優の胸は……
週末ごとに
繰り返される
この愛撫によって
……
んっ……
あ……
むにゅ
むぎゅ～
むにゅ
私の胸は
信じられないくらい
いやらしい形に
変形していきました

ふふ……
まったく
いやらしい胸だ
……
同級生の男に
もませたりしたコトは
あるかい？
い…いや……
……
そ…そんなコト
したコト
ありません……
週末の父は
いつもの厳格な父とは
まるで別人です
たぷん
たぷん
いやらしいことを
ききながら
私の胸を徹底的に
弄り続けるんです
きっと…みんな
想像しているよ
……
美優のこの
いやらしい胸で
パイズリさせるところを
むにゅ


父は私の肉襞を
執拗に
なめ回します
その間…私は
足を閉じるどころか
身動きひとつしては
いけないんです
ふふ……
おいしいよ
美優……
いくら
なめとっても
奥から
あふれてくる
やっ……
お父さん
だめぇ……
これ以上
されたら
出ちゃう……
出ちゃうぅ……
何がだい？
美優？
いや……
あっ……


胸の次は…
もちろん下も
です
しかも
まだシャワーも
浴びていない所を
……
あっ……
フフ…
ニオイが
キツイな……
待ってなさい
今…私の舌で
キレイにして
あげるから
やっ……
も…もう
許して……


あ…着替えは
そこに用意して
おいたからね…
はい……
そこにあったのは
一週間前に
洗濯カゴに
入れておいたはずの
体操服とブルマ
でした……
しかも……
そんな……
!!
脚ずかしいまでに
汚れている
パンティまで……
それらは
洗濯されることなく
私の汗で
汚れたままに
なっていました
そう…
これが父の
趣味なんです……


ああ…っ…
ふふ……
美優の
おもらしで顔が
汚れてしまったよ
これは
おしおきを
しなくては
いけないな……
寝室で
待ってるからね
……
はい……
そう……
これで
終わりでは
ないんです……


ふふ……
なんて
いやらしい
匂いだ……
こうして
いるだけで
クラクラ
するよ
むぁっ
むうっ
ああ…
これは
ちょっと
すごいな……
むんっ
むんっ
むうっ
むちっ
いやっ……
美優の匂いが
大好きな私でも
さすがにコレは
鼻が曲がりそうだよ


でも
幼い頃に
母をなくし
厳格な父に
育てられた
私にとって
父の命令は
絶対です……
……
たとえ
それがどんな
命令でも――……
コンコン。
失礼します……
ふふ……
よく似合っているよ
美優……


そういえば
さっきの
おもらしの反省が
まだだったな……
さ…
ちゃんと
言ってみなさい
はい……
ぷるる
み…美優は
お父さんの顔に
粗相をした
いけない娘です……
どうかこの
いけない娘に
お…おしおきを
して下さいっ……
むんっ
むちっ
ぷるる
ああ…
本当に美優は
いけない娘だ……
今夜は
徹底的に
おしおき
しなくてはな……

んっ
……
ぬぬぬ
ああ…
美優のココは
本当に
いやらしいな……
あっ……
あ……
ぬぬ
ぬぬ
んっ……
ふぁ……
んっ……
っあ……
やあ……
お父さんのモノを
自分から
くわえ込んで
くるよ
たぷぷ
たぷぷ


おっと
いけない……
美優の胸も
可愛がって
あげなくてはね
……
お父さん……
やっ……
やあ……
どうだい？
どんどん
刺激して
もっともっと
大きくして
あげるからね
あっ……
やぁ……
ひぁっ……
むちゅ…

ああ…
気持ちいいよ
美優……
このまま
美優の膣に
ぶちまけたく
なってしまうよ
あっ
んっ……
だ…だめぇ……
膣は
許して……
おなか……
おなかに出してぇ
……
んっ……
たぷ…


は……
くしゅん!!
!
どっ……
どうした美優!!
カゼでもひいたのか?
あ…いや……
ちょっとカゼっぽいっていうか一歩手前っていうだけで
い…医者にいこう!
いや呼んだ方がいいかな……
いや…そこまでしなくても…
何を言うんだ!!
大事な娘がカゼを引いたのにだまっていられるか


ああんっ…
ビュッ
ビュッ
ビュッ
びたっ
びたたっ
ふふ……
良かったよ美優……
少し休んだら今度は後ろの方も……
あ……



きょとん..

変なの――っ……

そう……

私が幼ない頃から
厳格で怖かった
父だけど

その分
何かあった時は
人一倍
心配してくれて……

だから
こんな不思議な
関係になっても
父を許せるのかも
しれません……

ね…そんなに
心配しなくても
大丈夫だよ

ニコ…

今夜
ぐっすり寝れば
大丈夫だから
……

え？

そのかわり…
明日の日曜日は
いっぱい
可愛がってね♡

✕週末のヒメゴト／おわり


フフ……
いつ見ても
いやらしい体つきだね
早苗ちゃん……
それじゃあ
勉強を始めようか
さ…イスに座って
あ…はい
先生……


それじゃあ
先生……
今日も
早苗の家庭教師
よろしくお願い
しますね
ええ
それじゃ
早苗ちゃん
いつもの格好に
なって……
は…はい
先生……


ところで早苗ちゃん……
ボクの考案した集中力の出る勉強法はどうだい？
あ…はい
先生の言ったとおり普段と違う裸というシチュエーションが集中力を生み出すみたいです……
ただ……
――ただ？どうしたの？いつもより緊張してるみたいだよ？
あっ……

だっ…だっていつもはママが出ていった後すぐカギを掛けるのに……
きょ…今日はまだカギを掛けてないから……
階下からママが上がってくるんじゃないかと思って……
ふふ……
なんだ……そんなコトを心配してたのか……
――……いいよ…入ってきて……
えっ…!!


ま……
待って下さい
!!
そんなぁ……
それじゃあ
ママの相手をするから
早苗ちゃんは
そこで自習してて
くれる？
仕方がないなぁ
早苗ちゃんのママは
……
お…お願いです
先生……
は…早く……
そ…そんな……
ママ……


ぷるっ
せ…先生……
も…もう
ガマンできません
ぷるっ
も…もう
娘の早苗の目の前でも
構いません
私を……
犯して下さいっ……
でも それだけじゃ
満足できなくなって
今日からは
早苗ちゃんと同じ
生徒になりたいって
言ってきたのさ
いつも
のぞいていたんだ
実は
早苗ちゃんのママも
前々から
ボクの授業に
興味があった
みたいでね
ふふ……
マ…ママ…!?


さ……
早苗も
ママと一緒に……
犯して下さい……
フフ……
今日は
特別に
母娘(おやこ)そろって
個人授業だ♡

んっ……
ふっ……
そうそう……
両側から
挟み込むように
しながら
上から包むように
舐めるんだ
あ……
むぁ！
ふぁい……
先生……
これで
よろしいですか……


それじゃあ
次は本番と
いこうか……
は…はい
先生……
私達
いやらしい
母娘二人を
先生の
それで…もっと私達に
いやらしいことを
教え込んで下さい


んっ……
ふっ……
そうそう
もっと二人の
唾液を
絡め合うように
しゃぶるんだ
んっ……
っ……
つあ……
で…出るっ!!
くっ…!!
っ…!!
ああ……
ママ……
こんなに
いっぱい……
ん……
娘と二人で
顔中ザーメンまみれに
なるなんて……


はぁん
いいっ……
ひぃん……
あぁッ
っあ……
素敵ですわ先生…!!
奥までっ……

っあ…♡
やぁん……
ああっ…ママそんなトコ舐めちゃダメぇ……
ぬぶ…
ぬぶ…
っは
ふぁ
はああん……


ああっ…♡
やぁん……
こっ…こんな
こんな格好で母娘そろって……
はっ……恥ずかしいけど
気持ちいいですわぁ……
よーし!!
それじゃあ母娘そろってザーメンまみれにしてやるッ!!

あぁ…!!
ああ……
体中先生のザーメンでいっぱい…♡
ふふっ♡
ママもよ…♡

これから・それから




ところで
先生……
御夕食の用意を
してありますけど
いかが？
い…いやぁ
今日はこのへんで
……
そんなコト
言わないで
一緒に食べようよ
パパ♡
へ？
あら……
先生には
まだ
言ってなかった
かしら……


このたび
別居中だった夫と
正式に
離婚しましたの♡
でね……
ママの再婚相手には
誰がいい？って
きかれたから
先生がいいって
言ったの♡
ねっ♡
今なら親子セットで
先生のモノに
できるんだよ♡
ねっ♡ いいでしょ？


ま…まぁ
一応これも
両手に花ってことに
なるのかな…？
なんだか
上手く
まるめ込まれたような
気もするが……
でも…これから毎日
親子どんぶりは
キツイな～と
思ったりして……
は……
はは……


さぁて…
帰んべ
トリ
お一高志
どっか寄ってく？
ん？
ん？
なんだよ
美優……
あ…あのね…
高ちゃんに相談が
あるんだけど……
今日…
高ちゃんのお家
行っても…いい？
たぷん
なっ……
ヒューヒュー
わぁ——
高ちゃんの部屋
久しぶりぃ♡
今 おふくろも
姉キもいないから
缶コーヒーで
いいよな……
カコッ
で——？
なんだよ
相談って……
ゴキュ
……
あのね…高ちゃんは
あの…その……
胸の大きな
女の子って
どう思う…？


こ…こんなの……
おっ…おい美優
な…なんだってそんな格好……
……!!


な…何を言い出すんだよ急に……
もちろんそりゃあキライじゃないけど――……
あ…あの…それじゃあ…その…そのオッパイを……
女の子の大きなオッパイをいじめたいと思ったこと…ある？
い…いやぁ…そりゃオレも男だから
もんだりナメたりとかはしたいと思うけど……
！


でっ…でも
美優の胸が
大きくなりはじめた
中学生のころから
なんだか高ちゃんとは
よそよそしく
なっちゃったし
このまま学校を卒業して
もっと離ればなれに
なったらもう気持ちを
伝えるチャンス——
なくなっちゃうし……
みっ…見て……
美優 こんなに
いやらしいんだよ
……
高ちゃんに
オッパイいじめて
ほしくてもうこんなに
なってるの……


まさか
おふくろのヤツ…ッ!!
浮乱縄奴隷
緊縛
縄奴隷
SM
巨乳
巨乳なぶり
巨乳
一番搾り
も…もしかして
このコレクションを
見たおふくろが
お前のトコに相談
しに行っ…た?
うん……
はぁ〜〜〜……
なんだって
そんなコト……
でね…
その話を
きいた時から
美優の体
おかしいの…
体が熱くなって
高ちゃんにオッパイを
いじめてもらうこと
ばかり想像しちゃって
……


だっ…だからね…
高ちゃんが
大きなオッパイの
女の人なら誰でも
いいんなら……
ちっ……
私でもいい
かなぁって…
だってほら…
私の胸ってあの本の
女の人たちに
負けないくらい
大きいでしょ？
バカヤロ――
誰でも
いいだなんて…
そんなコトあるワケ
ないだろ……
オレがあの手の本
集めだしたのだって
お前の胸が
ふくらみ始めたころ
からなんだぞっ!!
ぎゅっ!

う…うそ……
うそじゃ
ねェよ……
じゃ…じゃあ
高ちゃんが本当に
いじめたいのは
……
み…美優の
オッパイな…の？
ああ……
この大きくって
ハリがあって
にぎりしめたく
なるような
いやらしいこの
オッパイだよ
あ……
う…うれしい……


ひんっ
い…痛かったら言っていいんだぞ
うん……
でも……
あ……
高ちゃんの好きなようにいじめて……
美優のオッパイはもう高ちゃんのモノだから……
思いっきり好きにしていいの…♡

ん……
わかった……
もう遠慮しないからな……
あっ
ほらほら…こんな牛みたいな乳で恥ずかしくないのか!!
ひんっ
あ……
ひっ……
あっ……
っあ……
ち……
ちぎれちゃうぅ……


はぁ……
はッ……
はぁ……
それじゃあ…
そろそろいいか…
美優……
ん……
お願い……
！
ピーン
な…なあ
美優……
ブ…ブラジャー
はめてもらえる…？
え…？

ああ…
すごくいいよ
美優……
まるで胸の谷間に
アソコがある
みたいだ…♡
やぁあん……
それじゃ
いくよ…
美優……
コクッ
んっ……
ズッ
ズッ


あっ……
あ……
いっ……
いいっ……
むぎゅ
むぎゅ
オッパイが…
いじめられて…
いいのっ……
ほらほら……
いいのッ……
高ちゃんだから
いいのぉ……
そんなに
いいのか
美優……


あ……
ああんっ
やっ……
高ちゃん……
もっと……
もっと
オッパイも
いじめて……
もちろんだっ!!
母乳が出るくらいに
キツくしぼり上げて
やるっ!!
ひいいっ
……
くぅぅっ♡


あ……
もっと強く……
高ちゃん…もっと……
もっと強く……
美優をいじめてぇぇ……
あ……いっ…いっ…く……
くっ……
出るッ……!!

あぁっ……♡
あは…♡
高ちゃんの熱いので……いっぱい…♡


いってきまーす……
あ…
高ちゃん
……
乗ってくか？
後ろ……
うん♡
むにゅ
なぁ
美優……
なぁに？
高ちゃん……
お前もうちょっと
人前では胸が
目立たないカッコ
しろよ
え？
そうなの？
……
はい♡
ご主人様♡
オレがもんだり
吸ったりいじめたり
するのはいいけど
他のヤツは見るのも
ダメなのッ!!
しゅっと


親父が再婚した
――……
いや
その事自体は
別にいいんだ…
母さんが亡くなって
10年たつし
それは親父の自由だ
ついでに
妹もできた――
いや…それもいいんだ…
連れ子自体も
別に珍しくもないし
むしろ可愛いくて
うれしいくらいだ……
ただ――…
オレが
問題にしたいのは
――……
ガチャ
ふう


だ――っ
ナディちゃんの
目の前で
何やってんだよっ!!
何がって…
家族の
スキンシップじゃろうが
ああっ
許シテ下サイ
ダンナ様……
……
お…お帰り
なさいデス……
ほれ…アイシャ♡
伸ノ介にも
見せつけてやろうな♡
ナディ・ポポランガ


おう!!
帰ったか
伸ノ介!!
ああ…
コンナ…
恥かシデス
ダンナ様……
父:南国万次郎
南国パラダイス#1
アイシャ・ポポランガ
南国伸ノ介


とっ
とにかく…
そんな
スキンシップが
あるかよっ!!
ナディちゃん
行こっ!!
あ…
ナディちゃんもさぁ
なんで
あんな所で
じっと見てたの?
あ…あの……
パパさんに
そこで見テナサイて
言われたカラ……


オレの親父は
冒険家だ
つい
この間まで
世界中の
ありとあらゆる
秘境を駆け回っていた
その途中…
ポポンガ島という
島に
たどりついた親父は
そこで
男の理想郷を
発見したというのだ
なにしろ
その島の住人は
全て女!!
自他ともに
ドスケベの親父は
そこで夢のような
一時を過ごし……
その島で
見そめた女性に
プロポーズし
日本に
つれ帰ったと
言うわけだ


ナディちゃんもさぁ
いくら親父だからって
そんなのは
断わんないと
ダメだよ!!
デモ…
あ…あのっ…
モシカして
伸ノ介サンには
ワタシタチ
迷惑だタデスか?
え?
だっテ…
伸ノ介サン
いつも怒タリ
不キゲンに
ナルですカラ……
あ…いや……
しゅん…

そうだよな――……
この娘自体は
好きで日本に
来たわけじゃないし
あいや…
全然
怒ってるわけじゃ
ないんだ……
良カタ…
もっとオレが
かばってあげなくちゃ
ダメだよな……
むしろ
ナディちゃんは
可愛いし…
オレの
お嫁さんに
したいくらいだよ
え?
今
何テ
言タですカ?
いや
だから
ナディちゃんを
お嫁さんに
したい……
って…
!!


え——っ…
こ…これは一体……
ナディちゃんの一族は極端な男尊女卑らしくてのぉ
男からの命令には絶対服従だから言葉には気をつけろよ
親父!!
あ…そうそう言い忘れとったがのぅ……
オイッ!! そんなコト始めて聞いたぞっ!!
だから言い忘れたって言っとろうが
そ…それじゃもしかして親父のアロポーズって…
おう!! 気に入ったからワシのモノになれの一言じゃ!!


ワカリまシタ……
え?
え?
フ…フツツカモノですが……
ドウカナディをお可愛ガリ下サイ…♡
ヨロシクお願イいたしますデス……
ぱらり!


ま…そういうわけで
ナディちゃんは
お前の妻になったわけじゃ
ま…一夫多妻は
OKだそうじゃから
気楽に可愛がって
やるといいじゃろ
クソ親父っ!!
あ…あの…
やばり
ご迷惑だた
デスか?

あ…あの…
ナディは…その
伸ノ介サンさえ
おイヤで
なケレバ……
その…
伸ノ介サンに
イパイ
ご奉仕したいデス……
ナディ……
!
伸ノ介サ…
ん…


伸ノ介サン…
ひっ…
あっ…
ん…

だって…
2人は夫婦
だろ?
オレは
ナディにも
同じように
気持ちよくなって
ほしいよ…
ううん…
伸ノ介サンが
気持ちヨクなって
もらえレバ……
だっ
だカラ
あっ…


あ…
ひあッ…
あッ…
大丈夫?
ナディ……
痛くない?
ハ…ハイ♡
ダイジョブです


ナ…
ナディ…
あっ…あ…
っあ…
イパイ…
イッ…パイ
奉仕するデス…
オ料理も…
身の回りの
オ世話も……
ひぃん…
あっ…
それから
夜の奉仕も
ちゃんとするんだよ
あっ…
ハ…ハイです…♡

伸ノ介サンに
可愛がって
もらえるヨウニ…
よ…
夜のHな奉仕も
頭張ッテ
覚えるデス♡
あっ…
ひぃん
ああっ…
あぁん…
くっ…
くふう…
あ♡
よーし♡
ナディちゃんの体を
いっぱい開発して
あげるからね…♡
ハ…
ハイですぅ…


ああっ…
イクですう…
はぁ…
え…
今の体に浮かび上がった紋様は一体……？
はぁ…


それから…ナディにはもう一つ誓ってほしいんだ
？
もし…オレとの関係がイヤになったらナディの意志でやめてもいいんだ…
いいね？これは命令だよ
あ…
ハイです♡
それじゃいくよ…
あっ…
はっ…


南国パラダイス#2


ほらほら…
もっと足を開いて…
ちゃんとふいて
あげるからねっ♡
ハ…ハイです…
それにしても…
さっきの紋様は
何だったんだろ…
？
ま…いーか
♡
よーし!!
今日はあと
5R(ラウンド)いくから
のお!!
ああん…
ありがと
ゴザイますデス
ダンナ様あ…♡
to be continued


ナディちゃんと
結婚して
一カ月——
ア…アノ
お料理の味は
どデスか？
伸ノ介サン……
うん!!
おいしいよ
ナディ♡
はわわ～～
良かたデス
～～～
なぁに…
アイシャの
腕前に
くらべたら
まだまだ……
♡

大丈夫だって!!
ナディの料理も
十分おいしいよ♡
本当デスか？
あ——ん
パパサンが
いじめるデス
～～～～～
じゃあ
明日は
モット頑張テ
おいし料理
つくるデス♡
ドドドドド
親父が
アイシャさんと
そして
オレが
ナディと結婚して
（成りゆきだが）
一カ月がたつた
そう
わが家では
新婚カップルが
2組いる状態
なのだつた

習慣のちがいにとまどうことも多いものの

ナディちゃんの奉仕的な努力でうまくやっているのだった

あぁ…ホルちゃんポス…

お風呂が沸いテルから入っタラどですか？

あっ…ハイ

むにゅ

むにゅ

それじゃ一緒に入ろうかナディ♡

ハイです……♡

フフ…うまいコト2人きりになったのぉ……

あ…♡

ハイ…

さてと…ナディのティンパも脱がさなきゃね

かあぁ

ティンパというのはナディが身につけているふんどし形の下着のコトだ

ふふっ…ちょっとシミが目立つようになってきたね

ああっ…ソンナにじくり見ナイで下サイ……

ナディちゃんの部族では妻は夫に全てをゆだねるという意味で身につけるものは全部夫の管理下におかれるらしい


あ…あのっ
ナディは今日のお風呂でいっぱい奉仕するデスから
ティンパをはき替えてもいいですか？
そう…実はナディちゃんの部族では妻は夫の許可なしでは下着をはき替えるコトもできないのだ
よーし♡それじゃいっぱい奉仕するんダゾ♡
はいデス♡
あっ…
んっ…
ああっ…御主人サマぁ…
ふっふっふ…いやらしい腰つきをしおって……
とてもナディちゃんを産んだ一児の母とは思えんぞ♡
あ…あありがとゴザイますデス
ひんっ…
ほうら…今夜も大量のザーメンを流し込んでやるからのぉ……
ああんうれし…デスぅ……
んっ…
んっ…
どですか？伸ノ介サン…


さ――て♡
よく奉仕してくれた
ごほうびを
あげなきゃね
さ♡
ごほうびの
おねだりを
してごらん♡
ハイ…
伸ノ介サン…
うん♡
だいぶ
上手になったね
日本では
みんなこうして
妻が夫の体を
洗ってあげるんだよ♡
ハイです♡
ア…アノ
奉仕のごほうびに
ナ…ナディの膣に
伸ノ介サンの
ザ…ザーメンを
注ぎ込ンデ
下サイ♡
よーし♡
よく言えたね
日本の夫婦は
みーんな
こうしているんだよ♡
ホ…本当
デスカ?
もちろん♡
夫を
疑うような妻は
オシオキだぞ
ああんっ
ゴメなさいですうっ


もう
疑タリ
しまセンですカラ
許シテ下サイ
ふぁあ
ずぶぶ…
よーし♡
それじゃ
いくよっ♡
あ♡
あ…あっ…
コン…ナ
激シ…デス…
あ…
ナディが
可愛すぎるから
いけないんだよ
あ…
従順で
おとなしくて
控え目なのに
こんなに
Hな体を
してるんだから♡
あぁ…
そ…そンナ…
あっ…
ひゃあ…
ほうら…
どんな体位も
思うがままだ♡
恥かシ
デス…
コンナ
あ…


んっ…ほら
飲んで♡
ちゃんと
味わってね♡
と…とテモ
おいシ…デス
は…
はいデス♡
じゃあ
次はコッチに
飲ませてあげるね♡
ああっ…
あ…
んっ…
つや…
あっ…
コンナ…
激シ…
ああっ…
御主人様ぁ…
ふふ…
今日も
足腰立たなくなるまで
ハメまくって
ヤるからのぉ
ああん♡
あっ…ひ…
あ…



どうしたの？
またいつもみたいにおもらししちゃいそう？

あ…ダッテ……

いいんだよ気にしないでイキながらのおもらし見せて♡

は…はいデス…

ひゃん…

あ…

そう…実はナディちゃんの一族では男性の言葉には絶対服従…断わるコトはできないのだった

あんっ…

あっ…

デモ…やばり恥カシ…

あっ…

あんっ…

好きだよナディ…♡

あっ♡









to be continued

冒険家の父の再婚相手の娘としてやってきたナディ――……

HA HAHA HAHA

そして訳らずもナディを妻としてめとってしまった伸ノ介(しんのすけ)

こうして始まった2人の新婚生活なのですが

そう…実は彼女は奇妙な風習のある南の島の住人だったのです

一途なナディは伸ノ介を追って同じ学園へ――

はたしてどうなることやら――……？

イチ・ニ

はわ～～～…

いいな～ナディちゃん…

ん？

なにが？

なにがじゃねェよ!!この幸せゴクツブシがっ!!

イチ・ニ

うわっ…


ナディちゃんだよ
ナディちゃん!!
学生結婚だが
なんだか
知らないが…
あのナディちゃんの体を
毎日毎晩
なぶり回しとるんだ
ろーが!!
え?
そーだ
そーだ!!
そうにちがいない!!
オイオイ…
そんなに
興奮すんなって…


そう――…
転入初日から
ナディちゃんは
野郎どもの心を
わしづかみに
してしまったのだった
なにしろ
性格が良く
素直で
頭も良く
純情な
ナディちゃんが
人気が出るのも
当然といえば当然だった

ま もうすでに
カップルとして公認なんで
悪い虫はつかなくて
いいんだけどね
はっ…!!
今…なにを
想像してた
キサマっ!!
いーや…
なんも♡
ん?
そういや
ナディちゃん
さっきから
息が荒いような
……
!
どうしたんだろ?
顔も赤いみたいだし
……
はっ
はぁ…
ああ…アレね
大丈夫
大丈夫♡
?


よっ
ナディ♡
あっ…
伸ノ介サン♡
もうすっかり
学校には
慣れたみたいだね
ハイです♡
皆サン
やさしくシテ
くださるデスから


でも
体育の時
ずいぶん顔が
赤かったね…
！
は…はい…
あ あの…
妻の体調管理は
夫のつとめだからね
こっちに来て
調べてみようね
体育用具室
は…はいデス…
うわ～～～
これは
スゴイことに
なってるね…
ああっ
ダ…ダッテ


こ…この結び目が走るたび食い込ンデ…
うっわ…確かにすごいコトになってるね♡
あ…あの…この結び目はドシテモしなくちゃダメデスカ?
もちろん♡
ここの結び目は

日本古来のしきたりで夫婦の結びつきを表していて
どうしてもやらなくちゃいけないコトだからね
あっ…
あっ…
ああっ引っ張っちゃだめデスぅ〜…
そうか…この結び目のせいで顔が赤かったんだね♡
ダ…ダッテ走るたびに結び目が恥カシ所に当たっテ…
な…何度もしがみ込みソウになったデス


じゃあ
もう次回からは
この結び目は
ナシでも…
口から
出まかせだし…
デモ…
ナディが
伸ノ介サンの
本当のお嫁サンに
なるためデスカラ…
ナディ…
頑張るデス♡
あーもー
可愛いったら!!
あんっ…
よーし
きっそく今
可愛がっちゃる!!
ああん♡

あっ…
ああっ…
ふふっ…
いつもより
感じてる
みたいだね
ナディ…♡
あっ…
ダッテ…
ひっ…


んっ…
ふっ
でも
ナディくらい
可愛いと心配だな
……
なにせ…ほら
ナディは
男に命令されると
拒めないからな
ぬぶ
ぬぶ
ぬぶ
ぬぶ
ふっ…
そう
ナディちゃんの一族は
男性の言葉には
絶対服従…
逆らうことは
できないのだった
ダイジョブ
デス…
伸ノ介サン…
あっ…
んっ


いいんだよ
どんどんHになっても
……
これから
どんどん仕込んで
あげるからね♡
あっ…ああっ…
はっ…
はいデスぅ…
大好きだよ
ナディ…♡
ああん…♡
うれシデスぅ…
ぬっぽ
ぬっぽ
ぬっぽ


うっ…
あっ…
んう…
膣に…
膣に出すからね
ナディ…
あっ…
は…はいデス…
ナディの膣に…
伸ノ介サンのを……
クダ…サイッ…
んっ…


ナディの
身も心も
伸ノ介サンの
モノですカラ…
伸ノ介サン
以外の男性の…
命令や
お願いの時は
耳を
ふさぐデス
ナディ…
あくっ…
あ…
あ…
ひゃ…


ああっ…
どくん
コノままじゃあふれちゃうデスぅ〜
心配ならそのままブルマを履いて授業に出ればいいから
ねっ？
大丈夫だよそれくらい…
はっ はいデス…♡

さ 行こっ♡
ヘェ
にやっ
本当なんだ男の命令には絶対服従…って


うっ…
くうっ…
ああっ…



南国パラダイス#4


コイツはいいや…
くっくっく…
ん？どしたの？
あうう…やっぱりタレてきてるデス…
フン！
……
あの男…使えるな…
to be continued


なぁ…
ナディちゃん
どこいったか
知らない？
えっ？
お前が
呼んでるって…
室田の奴が
連れてったぞ
あれぇ？
え……
……


きゃっ…
ドサッ
何スるデスカ!!
人を呼ぶデスヨ!!
へへ…
やれるもんなら
やってみな…
オレは知ってるんだぜ…
ナディちゃんの
秘密をね…♡


くそっ
どこに
行ったんだ…
ふふ…
なんか
いやな予感が
する……
へっへ…
いいながめだ
……
あ……
今日からは
オレが御主人様だ…
たっぷりと
調教してやるからな
コンナ…
コンナノ…
イヤぁ…


!!
あンたの一族が
男の言葉には
絶対服従…
逆らえない掟が
あるってコトをな…
ソ…ソンナ…
わかるだろ
ナディちゃん…
オレと2人っきりの
今はオレが
ナディちゃんの
御主人様ってわけ
イ…イヤぁ…
いいか…
これは命令だ…
「おとなしく
黙ってオレに
犯されな」
ナディちゃん♡
っ……
助ケテ
伸ノ介サン
――!!


駄…目ェ…
は…ッ
イヤぁ…
許シテ…
はっ…あ
あくっ…
オイオイ…暴れるなよ
せっかく入れたのに抜けちまうだろ
新しい御主人様を喜んで受け入れろよ
おおっ…
ひぁ…
こいつはいいや♡

ナディちゃんは根っからの奴隷体質なのかな
ほらほら…こういうのがいいんだろ
はっ…
くっ
はッ…
伸ノ介サ…ン
ああッ…
絶頂たいんだろほら…ほら…素直になれよ…
はぁッ…いいぞ…
ひっ…
あ…
イ…ヤぁ…


イヤ…ぁ
コンナ…
イヤぁ…
こらこら
そんなに
暴れるなよ
ナディちゃん…♡
今から
このローターを使って
もっと
気持ちよく
してやるからなっ
やぁ…
うぁ…
ひっ…
ああ…ッ
ひっ…
たぷん
たぷん
たぷん
たぷん

へへ…
尻に入れた
ローターの振動が
たまらねェな…
ひぐぁ…
あ
くっ…
ああっ…
許シテ…
コンナノ…
駄…目ぇ…
あ…あああ…
ひぃあ…
ぬちゅ
ぬぢゅ
ほら…オレからの
命令だ…
絶頂てみせろよ!!
喜んで
新しい御主人様の
ザーメンを
受けてみせろ!!


見ナイ…デ…
ああ――ッ…
ぷぴ
ぷぴ


ナディ…!!
なっ…
!!
くっ…
出…るッ…
ビク
ビク
伸ノ介サン!!
いやぁあ…


ぐぷ…
ぐぷぷ…
へへっ…
これで
この女は
もうオレのも…
のッ…


無理矢理
やっといて
なにが
オレのモノだ
なっ…
なっ
てめぇ〜〜…
顔の形を
変えたいらしいな
え?
え?
大丈夫…
ナディちゃん…
は…はいデス
……
それに…
わかりましたデス
から…
コノ人は
アヤつられテる
だけデス…
本当に
悪イのは…


キャティ姉サマ!!
フッ…
バレたか…
ナディちゃん
こ…これは…
フン!
この男の人は
お姉サマに
アヤツられテいたデス
お姉サマ!!
ドして
コンナこと
スルですか!!
フン!!
ナディ…
それはね
アンタの目を
覚まさせるタメよ

どっ…どうゆう
コトデスかっ
フン!!
一族の掟だからって
男の言葉に従うなんて
ナンセンス
だってコトさ
だいたい…
生まれて初めての
プロポーズだからって
そんなに簡単に
一生の相手を
決めていいのかい?
ぐっ
どうなんだい?
それでも
自分の選択は
間違ってなかったって
言えるのかい?
……


ナディちゃん……
……
は――っ…
バカらし…
アンタにゃ
バカ負けしたよ
お姉サマ!!
ま…
それだけの
覚悟があるなら
もう何も
言わないよ
好きに
するがいいさ
伸ノ介とか
言ったね
アンタ…
族長の娘を
嫁にしたんだよ
これからが大変
だろうけど…
あたしゃ
知らないからねっ♡
ま…しっかりやんな♡


ハイ
モチロンデス♡
ニゴ…
なっ…
あ…あんたねェ…
そんな
簡単に…
あら…
お姉サマ…
ゴ存じナイノ
デスカ?
女の子は…
どうあったっテ
運命ノ人に
出会っちゃうデス
私にトッテ…
伸ノ介サンが
運命ノ人だったデス♡

あとがき



あ、どうも、あうら聖児です。
今回のコミックスは実はOVAと連動してまして、同名の「学園まりあ4」というアニメの原形となる話が収録されています。とはいうものの、実はこの作品自体かなり前のモノでして（けっこう手直ししましたが）楽しんでいただけたら幸いです。
それでは、この本にたずさわってくれた全ての方々とあなたに感謝x2の…

あうら聖児でした。！



⚔南国パラダイス ／おわり

晋遊舎コミックス

学園まりあ

©SEIJI AURA

平成14年8月1日　初版発行　　（検印廃止）

著　者　あうら聖児

発行者　立野　喜久

編集
発行　㈱晋遊舎

発行所　〒169-0071　東京都新宿区戸塚町1-102
早稲田関口ビル
TEL03(3203)5321代

製　版　暁印刷

印　刷　暁印刷

本誌の無断転載・上映・上演・放送を禁止します。
乱丁・落丁本は本社にてお取り替えいたします。
定価は表紙カバーに表示してあります。

Printed in Japan
ISBN4-88380-275-2 C9979